

8月 総勢 28 人の生徒が代表して各大会に挑む

中 中学生が全国大会出場



香川県高松市での全国大会に臨んだ
菟野中学校テニス部女子団体

大会や東海大会を勝ち抜き、全国大会に菟野中学校、八風中学校からそれぞれ各選手が出場しました。全国大会には、菟野中学校からテニス部女子団体、ハンドボール部男子、陸上部男子個人、柔道部女子個人が、八風中学校から陸上部男子個人が出場し、香川県高松市や徳島県鳴門市などで開催される各地の大会に臨みました。

全国大会出場選手

菟野中学校

【テニス部女子団体】

ささわたりゆづ 笹渡夕鶴	うちだのぞみ 内田望心	わたなべまう 渡辺美羽
たかださや 高田紗椰	やまざきりお 山崎梨央	いとりのな 伊藤里奈
きむらつきみ 木村月心	こばやしあ 小林亜衣	ふじもとこはね 藤本衣羽
まつさかあいな 松阪娃奈		

【ハンドボール部男子】

かわしまがどう 川島我道	いとうはやと 伊藤隼斗	でぐちそら 出口宙
さかぐちようた 坂口陽太	ながたしゆんた 永田準太	いんでんだいち 位田大地
うちやまら 内山瑠巳	もろおかはやて 諸岡颯	つみゆうと 堤祐人
やまぐちかつき 山口勝輝	わだたけり 和田武琉	やだこうせい 矢田昊聖
あいざわひなた 相澤陽向	すざきはるや 須崎遥也	ひらのあらた 平野新太

【陸上部男子個人】

かわいこうき
川合幸樹

【柔道部女子個人】

まつもとさわ
松本紗和

八風中学校

【陸上部男子個人】

すえざきこうだい
末崎煌大

敬称略

8月 菟野町の夏の風物詩

19日 燈火祭り&町民盆踊り大会



燈火で作られた「活」の文字

4年ぶりの開催となる三滝川燈火まつり&町民盆踊り大会を役場本庁南側福祉公園と河川敷周辺を会場として開催しました。当日は天候に恵まれ、出店には行列ができるほど多くの人で賑わい、盆踊り大会では、老若男女を問わず多くの人が踊りの輪に加わって日本の夏の伝統行事を楽しんでいました。また、三滝川河川敷では、手作りのランタンで今年は「活」の字を形作り、燈火が灯る幻想的な風景の中、来場者は写真を撮りながら夏の夜を楽しんでいました。



8月 カヌーやSUPを自在に操る技術を習得

中 カヌー・SUP 教室を開催



学んだ技術を最大限に生かしてカヌーを楽しむ子どもたち

小島のB&G海洋センター小島艇庫で本格的なカヌーやSUPの操船技術を学ぶ教室を今年も開催しました。教室ではまずインストラクターからパドルの持ち方を教わり、子どもたちはまっすぐに進む方法や後退しながら向きを変える方法などを学んでいました。教室の最後には、参加者全員でのチームリレーを行い、学んだ技術を駆使しながら、白熱したレースを繰り広げていました。

8月 小中学校で指導にあたります

9日 新しいALTを紹介



町長のもとへ就任の挨拶に訪れたモリーさん(写真右)

外国青年招致事業(JETプログラム)により、新しい外国語指導助手(ALT)のウェリング・モリーさんが着任しました。モリーさんはイギリスのサマセット州から来日し、町内の小中学校で英語の指導にあたります。

8月 菟野町から届ける平和への願い

19日 平和祈念の集いを開催



当時のデータや聞き取りをもとに解説いただいた吉田教授の講演

平和祈念の集いを町民センターホールで開催しました。第1部では、映画「島守の塔」を放映し、多くの沖縄県民を救った2人の内務官僚の姿を通して非情な戦争体験の様子を伝えました。第2部では「戦争体験を考えるーアジア・太平洋戦争の戦場と兵士ー」と題して一橋大学名誉教授の吉田裕氏を招き、戦前戦後の兵士を取り巻く環境の変化を陸海軍のリアルな生活状況を交えながら講演いただきました。また、8月5日から16日までの間、図書館1階ギャラリーで



平和祈念展として原子爆弾の悲惨さなどを紹介したパネルなどを展示しました。

7月31日 低学年向けにプールで初開催

8月7日 B&G プールでSUP 教室



ボードの上に立ってSUPを楽しむ子どもたち

立った状態でボードに乗り、パドルを漕いで水面を進んでいくSUP(スタンドアップパドルボード)の体験教室をB&G海洋センタープールで開催しました。今回は参加対象を小学1年生と2年生に限定し、比較的 안전한 プールという環境でSUPを体験してもらいました。参加した子どもたちは、ボードとパドルを巧みに操り、指導員の指示に従って操船技術を学んでいました。

8月 敬老の日に合わせて長寿を祝う

8日 満100歳を祝い表敬訪問



町長との記念撮影に写る内田さん(写真右)

満100歳を迎えた内田たにさん(小島)を町長が表敬訪問し、長寿を祝いました。内田さんは食事の準備や入浴など生活のほとんどを自身で行い、毎日シルバーカーを押しての散歩やラジオ体操を欠かすことなく続け、自宅で元気に過ごされています。町長から100歳になったの感想を問われると、内田さんは「ご先祖様をはじめ、子ども、孫、ひ孫たちに支えられて生活できており大変感謝しています。おかげで毎日楽しく幸せに過ごせています」と嬉しそうに語りました。